

ほんべつ 議会だより

No.57

平成23年5月1日発行



新しい保育所でなかよくね

4月1日 勇足保育所

第1回定例会

本別町役場出張所設置条例改正等を可決

平成23年第1回定例会は3月1日に開会し、一般質問の他、本別町定住自立圏形成協定の議決に関する条例制定などを審議し、全て原案どおり可決しました。審議された主な内容は次のとおりです。

条例

役場出張所設置条例の一部改正

総合住民情報システムの更新に伴い印鑑登録に係る業務を電子計算機で行うため、勇足、仙美里各出張所において印鑑の登録業務ができなくなることから条例を改正するものです。役場で登録を行ったあとは、証明書の発行は各出張所で可能です。

定住自立圏形成協定の議決に関する条例制定

現在、十勝圏における定住自立圏構想の推進のため、具体的な作業が進められており、昨年12月に帯広市が中心市宣言を行いました。今年7月には中心市との形成協定を締結、9月に共生ビジョン策定が予定されています。

本町においても、この形成協定締結をするにあたり議会の議決が必要なため条例を制定するものです。

(定住自立圏構想は中心市の都市機能と、周辺町村の農林水産業振興や自然環境保全などを互いに連携・協力し、全体として魅力あふれる地域を形成していきます。)



新しい印鑑登録システム

一般会計

ブロードバンド事業

問 工事の進捗状況からいつて新年度から開始できるのか。



急ピッチで進む光ファイバーの設置

答 当初よりは若干遅れています。3月末までの工期をめどに鋭意努力しています。実際に活用できるのは6月前後になるかと思えます。

国民健康保険病院事業会計

医師確保

問 短期間で退職される医師があられるが、勤務期間の決めなどはあるか。

答 法的な強制はできませんが、採用時に長く勤めていただくようお願いをしています。ほかの自治体を含め、いろいろな状況によって辞められている実態はあります。



国保病院診察待合所

平成22年度 各会計補正予算

会 計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一 般 会 計	(55,377万1千円) 71億1,248万5千円	コミュニティセンター自動ドア修繕 暗渠排水工事 図書館電算システム開発委託料
特 別 会 計		
国民健康保険	(△2,701万1千円) 13億8,172万4千円	一般被保険者高額療養費 保険財政共同安定化事業拠出金
老人保健	(302万6千円) 366万4千円	特別会計清算に係る一般会計繰出金
後期高齢者医療	(△4,189万円) 1億306万3千円	後期高齢者医療広域連合納付金
介護保険	(38,897万円) 7億4,295万6千円	介護サービス給付費事業 高額介護サービス給付費事業 特定入所者介護サービス費事業
介護サービス事業	(1,356万9千円) 2億7,479万円	特別養護老人ホームスプリンクラー 設備設置工事
簡易水道	(△80万円) 8,455万7千円	新設量水器
公共下水道	(△749万3千円) 4億5,138万7千円	公共下水道汚水管渠更新工事 処理場機器更新 浄化槽新設工事
水道事業会計	(16万1千円) 2億3,405万円	消費税及び地方消費税
国保病院事業会計	(△1,080万4千円) 15億6,038万2千円	診療材料費 在宅酸素濃縮装置借上料

※臨時会補正3会計含む

12回目のナイター議会 に34名の傍聴者

3月8日午後6時から役場3階議場でナイター議会が開催され、5議員より5問の一般質問がありました。



傍聴者アンケートから

問 一般質問について、どのように感じられましたか。

- ・これからも緊張感を忘れずにやってほしい。
- ・具体的な意見や提案をされている姿勢に好感が持てた。
- ・町民の話を聞いた上で問題提起をしてほしい。(形式にこだわりすぎている)

第1回臨時会



改修を待つ休憩所トイレ

答 昨年、町が直営で管理してからは利用者が多く、旧式のトイレのときは子供たちが利用しないこともあり、水洗化、多目的トイレの設置等利用しやすいトイレにします。

問

事業として選定した経過は。

きめ細かな交付金事業として実施する義経の里休憩所トイレ等改修工事の請負費に対する質疑

義経の里休憩所トイレ改修工事

一般会計

開催日 1月25日

第1回臨時会

答 60人程度収容できる(焼肉が可能)施設で、側面の壁は作らず、厚手のビニールカーテンを予定しています。可動式のテーブルと椅子を常時設置します。

問 母屋だけで、あずまやということになるのか。
具体的な備品は。

疑 きめ細かな交付金事業として実施する太陽の丘休憩施設建設工事の請負費に対する質疑

太陽の丘休憩施設建設工事



新休憩所建設予定地

一般質問

8名の議員から15問



行政

開町110年を迎えるにあたっての記念事業について

答 町民ツアーに補助金を出すことは難しい



大住啓一議員

大住議員 開町110年を迎えるにあたり、記念事業を計画しているようですが中でも姉妹都市、友好都市への訪問が計画されていますが、多くの若い方に参加していただき、見識を広げ、将来の本別町の発展を担っていただけたらと思っております。

公募をかけて参加していたことになった時に、徳島県小松島市は、概ね15万円程度、オーストラリア、ミッチェルについては、概ね30万円程度の負担が生じます。負担を軽減するために補助金を出す考えはあるのか、又、町民の皆さんに早くお知らせすべきと思いますが、考えを伺います。

高橋町長 現時点で人数等は確認していませんが、広く公募し、若い世代も参加できるようにしたいと思っています。小松島市の訪問に関しては、4月の広報等でお知らせしたいと思っています。ミッチェルは、11月ですので検討してまいります。

趣旨からしても補助金については、難しいものと考えております。



小松島伝統の吹筒花火

人口減・定住促進対策は

答 産業の創出・育成、定住対策に取り組みます



林 武議員

林議員 町政執行方針が示されました。基本的な考え方と施策の大綱について述べられていますが、具体的に伺います。

①平成22年に行われた**国勢調査**の結果、5力年で796

人の減少です、人口増は現状では困難ですが、いかに減少率を縮小するかが課題となりますが対策については。

②町内外の定年退職者などへの定住促進策は。

高橋町長 ①本町の経済を支える農林業をはじめ、あらゆる産業への支援や創業・起業の促進及び、地域資源を

生かした、産業創出・育成など鋭意取り組みます。
②移住も当然大事なことですが、わが町の現状をしっかりと認識しみんなで支え合いながら、住み続けていただくためには、安全・安心の町でなくてはなりません。発想の転換をして、地元を意識を持つことにより大きな効果が得られます。

いろいろな提案をし定住対策に取り組みます。



浦幌坂から見る本別市街

国勢調査とは

統計法に基づき、日本に居住している全ての人口及び世帯を対象として実施される国の最も重要かつ基本的な統計調査です。基本的には5年ごとに実施されます。第1回国勢調査は1920（大正9年）に実施。



リフォーム助成制度とは

「住宅リフォーム助成制度」は、地域住民が住宅のリフォームを行った場合にその経費の一部を自治体が助成することにより、住宅の改善を容易にすると共に、中小零細事業者の振興をも図るものです。

助成には、耐震改修、高齢者住宅対策、介護保険など数多くの種類があります。



産業



暮らし

住宅リフォーム助成で仕事確保、町を元気に

答 現時点での新制度は考えていないが研究していきたい



阿保静夫議員

阿保議員 全国175自治体で取り組まれている「住宅リフォーム助成制度」は大きな

経済効果と民間活力の発揮で地元業者支援につながるものと考えます。

本町では高齢者住宅改修助成、太陽光発電システム助成や住宅整備資金の無利子貸付などを行っており、それぞれ町内経済への波及効果をあげていると思いますが、住宅リフォームへの助成制度も研究、検討し、取り入れる考えはな

小笠原議員 本別公園の遊具充実や、道の駅多目的広場に遊具の設置を望む声がありますが、以下について伺います。



小笠原良美議員

① 本別公園、清流公園の遊具の更新や設置についての考え方は。

② 道の駅開設以来、町道山手朝日線通りの交通量が増え近隣の子供たちが、危険な状況下で遊んでいる姿を見かけます。危険の回避や子育て支援の観点から多目的広場に遊具の設置の考えは。

③ 利用者の意見を参考に、より多くの人に利用していただける遊具の設置に努めるべきと考えますが。

本別公園の遊具の充実と道の駅多目的広場に遊具の設置を

答 多目的広場の遊具設置は24年度に

高橋町長 ①国の都市公園安

全・安心対策緊急総合支援事業により、老朽化した施設・遊具の更新を図ります。

②多目的広場の目的が十分に発揮でき、支障のない範囲の中で子供たちが安全・安心に遊べる遊具の設置を24年度に行います。

③子供たちの関係する団体、保護者の会などの意見を参考に、町民の皆さんの憩いの場となるよう公園や道の駅周辺整備を図っていきます。

この他に、第6次総合計画・基本構想のひとりづくり、人材の育成の手法について質問しました。



バリアフリー化した玄関

また、現行施策は、建築士会の皆さんがボランティアでバリアフリー化などの相談に乗って、結果としてビジネスにも結び付くということなので、喜ばれていますので継続していきます。



今年更新される本別公園の遊具

本町の防災計画について伺います

答 日常的な訓練も含め、安全を期する対策を講じていきたい



黒山久男議員

黒山議員 本町は本年度、五年に一度の総合防災訓練の年にあたります。以下について伺います。
①本年度の総合防災訓練の進め方は。

②各地域防災組織の組織率は。
③各避難所への主要避難通路をどのように考えているか。
④災害時における要援護者対策は。

高橋町長 ①迅速かつ的確な災害対策が出来るよう、関係機関相互の密接な連携、また、自主防災組織との協力体制を確立しながら、地域住民の防災意識の普及を図ることを目的として実施。

②28自治会、2,399世帯で全体の61.5パーセントになっています。
③これまでも状況に応じて安全な避難所に避難していただいています。現在、ハザードマップなどの作成を検討するなど、町民への周知をさらに進めます。

④高齢者、障がい者を対象に実態調査を実施、避難時の支援プランの作成が終わっています。

旧別営林署苗用地・旧施設(建物)の活用について

答 多目的広場供用開始後、まちづくりの拠点として整備します

大住議員 旧別営林署苗用地は、平成20年度に国との間で売買契約が整い現在に至っています。面積が58,796㎡と大きいこと、適度な施設があることから将来に向けた活用方法を伺います。

①旧営林署苗用地は市街地の中で大きな面積を有する土地です。どのような活用を目指していますか。
②旧営林署の建物は土地も含めて国の所有となっていますが、国から譲渡を受け独自の活用方法を考えるべきと思いますが考え方は。

③苗用地や建物「みやま荘」の将来計画を町民のみなさんに示すべきと思いますが考え方は。

高橋町長 ①北海道森林管理局との紳士協定の中で概ね10年程度緑地として利用してい



今年緑化される旧別営林署苗畑

きます。平成23年度に緑地化を図ります。

②建物については、老朽化が進んでいて活用は困難と判断しました。

③今後は、森林管理署とも引き続き情報を公開しながら検討していくことになっていきます。

この他に、農業の振興についても質問しました。

地域包括ケアシステムとは

高齢者が地域で自立した生活を営めるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供されること。



ものしり博士から

白糠丘陵とは

北海道東部にある丘陵で南北に約50kmの長さを持ちます。釧路と十勝の境界を成す丘陵であり、北は雌阿寒岳に連なります。



ものしり博士から

土砂災害警戒区域等の指示に係る今後の対応について

答 住民の声を拝聴し、それを尊重し意見をまとめたい



戸田 徹議員

戸田議員 平成20年10月、白

糠丘陵に関しては基礎調査結果の位置図を十勝支庁長（当時）から受領し、その後、住民説明会を行ってききましたが、今後の町の対応についてお伺いをします。

①本町の警戒区域等の

うち土石流8箇所、急傾斜の崩壊6個所の状況認識は。

②住民説明会における住民の声は。

③災害時の避難体制整備は。

④防止対策の進め方

は。
⑤意見書作成の考え方は。

高橋町長

①住民の安全・安心のため調査を



朝日町急傾斜の崩壊後

します。

②二度の説明会を開催していますが議論が尽きたとは考えていません。

③避難経路、避難場所、避難所などを盛り込んだハザードマップの作成を検討します。

④国、道などに対し災害等の防止対策の実施を強く要望していきます。

⑤あくまでも住民の意見を尊重して報告をさせていただ



福祉

介護保険サービスのさらなる充実を

答 地域包括ケアシステムの実現に向け努力します



高橋利勝議員

高橋議員 町内で3箇所目と

なる小規模多機能型居宅介護事業所「清流の里」がオープンしましたが、地域密着型の取り組みの評価と今後の取り組みは。

また、介護福祉施設の整備にともなって介護職員が増えますが、その待遇改善と住宅確保への配慮は。

高橋町長 私の就任以降、町民からいただきました大きな財産は、健康長寿のまちづくり条例、福祉でまちづくり宣言と考えています。

今後の取り組みは、第二期の地域福祉計画に基づき第五期の銀河福祉タウン計画によ



新しくオープンした「清流の里」

り、高齢者が地域で自立した生活が営めるよう、**地域包括システム**の実現に向けて取り組んでいきます。

また、介護職員の処遇改善については各事業所で基本給及び手当の増額を行いながら努力していると聞いています。

住宅の確保につきましては、町内にあります北海道の職員住宅の活用とか、公的機関の空き家となつてゐる住宅や公営住宅、民間を含めて住宅の確保に努力していきます。



農業

戸別所得補償制度の実施体制の構築は

答 町、農協関係機関による農業再生協議会が実施主体に

阿保議員 町としては、制度の円滑な実施体制をつくるとして新年度予算が示されていますが、具体的にはどのような対応をする考えか伺います。

また、この制度が打ち出されてからは行政に大きな責任を持たせる流れだったと思います。最近になって農協との連携が強調されています。農協との連携について見解を伺います。



馬鈴薯の播種準備作業

高橋町長 実施体制は、現行の担い手育成対策や耕作放棄地解消対策等の各種協議会を整理統合し、戦略作物生産や地域農業振興については行政が主体になりながら、仮称「農業再生協議会」の設置を検討しています。

町と農協を中心に農業関係機関と農業者が一体となった体制の構築を目指します。

阿保議員 農業の6次産業化をうたつてもいますが行政の役割は。

高橋町長 国の農政事務所が窓口であり連携を図ります。

その他、小中学校に地震緊急通報装置の設置について質問しました。

ビート作付支援対策について

答 今後も必要な対策は農協・製糖工場・町で協議



山西二三夫議員

山西議員 ①平成22年度のてん菜は、低収量、低糖分により生産者、製糖業者などを含めた雇用、地域経済にも大きな影響があり厳しい年となりましたが。

②今年のビート作付面積が減少しています。

製糖工場の安定稼働に向けた振興策として、予算措置による面積確保を行い、作付面積の減少に歯止めをかけるべきと考えますが。

③重要な農業振興策をスビーディーに検討するため、町と農協による協議会を設置しては。以上の3点を伺います。

高橋町長 ①製糖工場が本町にある事の経済効果は計り知れないものがあります。



早期に操業を終えた北海道糖業

②原料の一定量確保は製糖工場存続の条件です。継続的に作付を維持していくために、基盤整備、土づくり、環境整備を整えていきます。

今後必要なものは、農協、製糖工場、町と継続的に三者で協議していきます。

③協議会設置については、改めて組織を作らなくても、営農指導対策協議会、農業関係団体懇話会の中で適宜対応していきます。

本別高校の教育を考える会とは

少子化の中、将来的に現状間口を確保することは困難な状況であることから、本別高等学校が統廃合の対象になると、学校や地域社会に与える影響は計り知れないため、本別高等学校の存続及び方向性を探るために調査・研究を進め、特色ある学校づくりを支援する会です。平成7年に設立。



教育

健康・スポーツ推進の町宣言の日を設けては

答 特定の日を設けるのではなく日常的に取り組んでいきます

高橋議員

ことしは健康スポーツ推進の町宣言二十五周年、開町一〇年ということで、5月25日に町民参加型のイベント「チャレンジデー2011」が開催されます。これを機会に健康・スポーツ推進の町宣言の日を設け、体育施設等の入場料、使用料を無料開放して、多くの町民のスポーツへの参加を求め、健康づくり、スポーツの振興を図っていく考えはないか伺います。

澤田教育長

「チャレンジデー」の参加を契機に、より日常的に身近に親しめるスポーツの普及を図り、町民の皆さんが心身ともに健康で充実した日々が送れるよう今後とも努めていきます。

高橋議員

町民の間では、健康・スポーツ推進の町宣言の認識が薄れているのではと思っています。町民全体として認識するためにも宣言の日を検討する考えはないか。

考えはないか。

澤田教育長

町民の皆さんに認識されるようスポーツ団体等とも話し合いを進めていきます。

本別高校の存続活動は

答 本別高校の教育を考える会、企業・団体、地域住民、オール本別で取り組みます

林議員

教育行政執行方針が示されました。その中から本別高校の存続活動について伺います。

①道教委より具体的な案が示されているのか、情報の把握は。

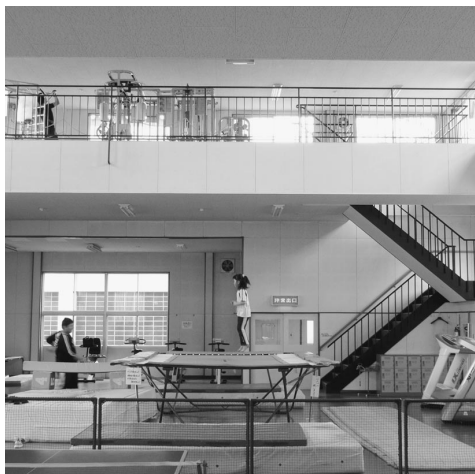
②今日に至るまでの取り組みと総括、今後の課題と対策は。

見通しです。

②生徒の確保には魅力ある高校づくりが必要との考えから、学力向上、進路対策、部活動、通学等々の支援を進めています。2間口を維持し生徒の確保を図るためにも、企業、団体、地域住民等町民挙げて守り育てるため、しっかりと取り組みます。

澤田教育長

①平成23年度から25年度までの3力年は「配置計画」、26年度から29年度は「見直し」になります。その中で配置計画では1学級減となっていた上士幌高校が、23年度入学者増加による1学級増となりました。25年度は帯広市内で1学級、郡部で1学級減、26年度から29年度で1から2学級を調整していく



健康増進に役立っている体力増進センター



町民の思いが深い本別高校

一般会計予算は63億4,000万3千円(前年比0.3%の減)

平成23年度各会計予算審査特別委員会(戸田徹委員長・11名)は、3月11日、14日、15日に行われ、一般会計ほか6特別会計、2企業会計の予算案を原案のとおり可決しました。

本年度予算編成にあたっては、町民の生活基盤、景気、雇用、産業振興、各種のまちづくり計画など、第6次総合計画の初年度に必要な施策・事業に配慮した予算編成を行いました。全会計を合わせた予算総額は111億1,427万9千円で、対前年度比0.1%の減となっています。主な質疑内容は次のとおりです。

一般会計

新たな町勢要覧

問 道東自動車道の開通に重点を置いた町勢要覧作成の考えは。

答 高速道路や高速通信網なども活用した、まちづくりと町のPRをできるような形で検討します。

本別川鉄橋点検

問 本別川鉄橋保存の要望もあり検討してきたと思うが、点検の目的と内容は。

答

今回は橋げたの落橋防止、橋脚強度の調査を行う予定で、あわせて橋の調査も実施します。今後の保存・整備については、文化財の検討委員会等、関係団体とも協議をし進めます。

旧ふるさと銀河線跡地

問 市街地内の用地確定はいつ頃なのか。特に、道の駅北側Aコープ裏用地については、速やかに用地確定すべきでは。

答

国道の拡幅工事の絡みで測量等が行われると思われるので、そこを見てから進めていきます。



幅広い用途が望まれる道の駅北側跡地

ソーラーシステム導入事業

問 事業導入にあたって、町内業者参入の状況は。

答

平成22年度は18件全て町内業者となっており、今後も町内業者で事業を行っていく考えです。

高齢者居住施設

問

①入居の条件は。小規模多機能施設と連携して入居者対応するのか。

②対象者の見込み数と選定方法は。

③入居料は低所得者も入居できる料金設定になるのか。

答

①要介護者で自宅で見守れない方を主に考えています。通所者も一部対象とし小規模多機能施設と連携しながら対応します。

②8〜9室程度の考えです。選定方法は今後、社会福祉協議会が具体的に決めていきます。

③社会福祉協議会で設定しますが、年金暮らしの方なども入居できるように検討します。

循環バス

問

①試験運行の結果と今後の見直しは。②停留所から離れている利用者への対応は。

答

①2、3年試験運行をしながら町内で運行している循環バス等や路線バスの形態も含めて検討し、より良い運行を考えます。

②停留所の設置場所についても検討していきます。



高齢者居住施設建設予定の旧病院跡地

ワクチン接種

問

①子宮頸がんワクチンが品薄と聞くが接種できない方がいるか。

②小児用肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチン接種での死亡により一時中止と聞くが本町は。また、保護者への理解は。

答

①1回目接種した方を優先的に2回目、3回目接種をし、国、道の指導により進めます。

②一時中止し、対象者に通知しています。保護者へは不安にならないよう説明していきます。(本町は5月1日から受付再開)



子宮頸がんワクチン

健康診査料

問

個人負担額の変更はあるか。

答

子宮がん、乳がん検診の個人負担額を下げています。子宮がん検診3千5百円を1千5百円、2千2百円を8百円に、乳がん検診2千6百円、3千5百円をいずれも1千9百円にしました。

問

その他の高い検診料を変更する考えは。

答

基本的には一部負担していただきますが、検討していきます。

鳥獣被害緊急対策事業

問

本別公園内でシカ柵が設置されない部分があるが対応は。

答

設置方法を工夫し、シカ柵が一連となるように計画をしています。

公園にこられる住民の安全も確保する方法で検討します。

黒毛和種の資質向上対策・優良繁殖雌牛保留促進事業・生乳生産基盤維持向上経営安定特別対策事業

問

事業内容の詳細は。



将来のブランド化を担う黒毛和種

答

黒毛和種は、現在51戸の農家で飼っており、本町のブランド化を進めるため、優良牛の自家保留を目的の導入に支援をする事業です。

生乳生産は経営の安定を目指すための事業で、導入牛に対し平成23年度は約200頭ほどを、1頭につき3万円のうち、3分の1を町、3分の2を農協が見るという形です。23年から3カ年の事業です。

農産物加工施設建設費

問

建設に関わる金額で町の持出しはどのくらいか。

答

建設工事と設備工事1億2千715万3千円のうち、建物約2千万円、備品約430万円、合わせて2千400万円程度になります。

総括質疑

東日本大震災

問

①東日本大震災により、交付税や補助金の減額、延期など、予算執行への影響は。

②南三陸町に重点を絞った支援についての取り組みは。



町民のみなさんの思いを込めて...

答

①まだまだ計り知れないことであり、直接財政について私どもではわからないところがたくさんありますが、町民の暮らしに重大な影響の出ないように対応をしていきます。

②特に南三陸町に力を入れながら、義援金の募集から始め、冷静に情報をしっかりと取り判断しながら、直接物資を届け、職員の派遣などを行って参ります。

平成23年度予算

問

今年度予算を執行するにあたり、より多くの町民に理解をいただくような執行が必要と思うが基本的な考え方は。

答

町民生活に密着した政策を、町民の皆さんにも理解いただきながら進めます。今まで、ずっとやってきた町長がおじやましますも拡大し、より地域に密着した形で、進めていきます。

水道事業会計

問 人口減に伴う水道料金の見直しは。

答 浄水場は建築後33年経過し、機器の更新がありますが、料金は極力上げないように努力していきます。



33年が経過した浄水場

国民健康保険病院事業会計

問 家庭医専門の医師が退職したが、総合診療科の今後は。

答 総合医の確保は難しい状況ですので、当面は消化器系の医師でと考えています。

委員会公出しレポート

産業厚生常任委員会

調査日／平成23年1月27日
○本別町住宅政策推進計画
公営住宅事業の進捗状況について

- ・ 将来人口、世帯数の設定
- ・ 住宅フレームの設定
- ・ 公営住宅事業年次プログラム
- ・ 栄町団地建設に伴う月額家賃（傾斜家賃）
- ・ 向陽町団地改善に伴う月額家賃（傾斜家賃）

まとめ

町内ほぼ全域に団地がありますが、中でも建設年数が経過している栄町団地、向陽町団地については、それぞれ建てかえ、改善が計画されています。

栄町団地の建てかえ工事は現在5棟20戸が建設され、今後も計画的に建設が進められます。しかし、街の中心より遠く高齢者が入居するには難しい面もあります。

向陽町団地については、耐用年数の過ぎた36戸を平成23年から個別改善してい

く予定です。
公営住宅の家賃滞納については、以前より大幅に減少しており徴収に対する努力が伺えます。
町外からの転入者含め、緊急に入居希望する場合、柔軟に対応できるように改善できないか研究する必要があります。



個別改善をする向陽町団地

総務常任委員会

調査日／平成23年1月27日
○定数外臨時職員の状況について

- ・ 準職員、嘱託職員、臨時職員、パート職員、代替職員の賃金体系、採用基準、並びに各部署の人数について

まとめ・今後の課題

- 労働者の3人に1人が非正規労働者で、そのほとんどが年収200万円以下のワーキングプアと言われています。この中、行政改革の名のもとに自治体労働者の中に定数外臨時職員の採用が増加してきたのが現状と考えます。このことから官制ワーキングプアという問題の指摘もあります。以下改善の努力が望まれる点、課題について提案します。
- ・ 定数外臨時職員の賃金・諸手当などの待遇改善が必要
- ・ 臨時職員から準職員への任用、臨時職員の一時金（12月）増額などの努力
- ・ 諸手当・福利厚生面などの改善

○老朽化に伴う学校給食センターの改築について

- ・ 建て替え計画の進捗状況について
- ①施設の概要
- ②学校給食共同調理場整備推進本部の設置と活動状況
- ③学校給食共同調理場整備推進本部の今後の予定



委員会で学校給食を試食

まとめ・本町の今後は

学校給食衛生管理基準やハサップ方式により、施設整備の基準は非常に厳しくなっており、基準に合う施設整備の費用は現施設より何倍もかかることは必死です。また、食の安全、アレルギー対策、食育、学校以外への給食提供など共同調理場の役割は多面的になっています

今後の課題については次のとおりです。

- ・ 学校給食以外の施設、高齢者への給食提供。
- ・ アレルギー対策。
- ・ 保護者、町民との意見交換、意見聴取。
- ・ 残渣の処理と利活用。
- ・ 地場産小麦使用のパン、直前の焼き上げ。
- ・ 太陽光、熱エネルギーの利活用。

行政報告

1月25日第1回臨時会、3月1日第1回定例会において、町長から行政報告がありました。(抜粋)

地域活性化交付金

第1回臨時会

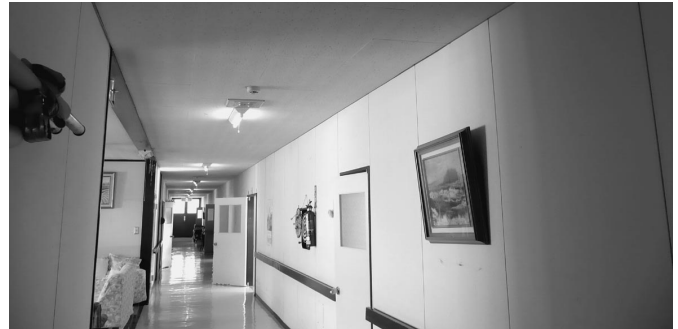
政府による「住民生活に光をそそぐ交付金」創設を受け本町は、地域経済及び住民生活に直接波及するものと単独事業などを区分し、優先する15事業1億7,234万6千円の事業を選定をしました。

地域経済、雇用状況から、できる限り効果的な事業が選定され予算執行ができると考えています。

第1回定例会

22年度一般会計の財政状況

1月末現在の一般会計は歳入が収入済額53億2,284万7千円で65.2%の執行率、歳出が支出済額47億6,325万8千円で58.4%の執行率となっており、国からの普通交付税は前年度比1億7,256万6千円増の30億9,628万1千円になる見込みです。



スプリンクラー設置が待たれる養護老人ホーム廊下（住民生活に光をふりそそぐ交付金）

本町における公共交通体系の見直し

昨年3月に設置した法定協議会は地域公共交通総合連携計画を策定し、この計画を基に具体的な施策について検討・協議をし、へき地患者輸送バス等の実証実験、利用アンケート等を行いながら平成25年度以降の本格運行を目指していく予定です。

地球温暖化対策実行計画の策定

地球温暖化対策実行計画は、本別町の公共施設など事務事業で排出する二酸化炭素を、平成20年度の5,189トンを基準として、計画最終年の平成27年度末まで14%の削減を目標とします。

削減の取り組みとして、街路灯のLED化や公共施設への拡大エコ設備導入など、あらゆる領域で新エネルギー対策を推進していきます。

平成22年傍聴者数

	男	女	計
第1回定例会	27	29	56
(うちナイター議会)	(16)	(20)	(36)
第2回定例会	8	7	15
第3回定例会	20	15	35
第4回定例会	12	4	16
(定例会計)	67	55	122
第1回臨時会	2	0	2
第2回臨時会	2	0	2
第3回臨時会	3	0	3
第4回臨時会	1	0	1
(臨時会計)	8	0	8
予算審査特別委員会	1	3	4
決算審査特別委員会	1	0	1
総合計画特別委員会	3	3	6
(特別委員会計)	5	6	11
議会運営委員会	2	0	2
総務常任委員会	1	1	2
産業厚生常任委員会	30	3	33
(委員会計)	33	4	37
合計	113	65	178

東日本大震災支援

東日本大震災により被害を受けた被災地へ、北海道町村議会議長会と南三陸町支援物資搬送隊を通じて義援金にて支援をしました。

議会用語の解説

《討論》

議題に対し賛否をたかわすこと。一般的には討論は反対する議員から先に行い、そのあと賛成議員が行う。反対者、賛成者が複数の場合は交互に行う。

《基金》

地方公共団体が、条例で定め特定の目的のために資金を積み立てること。

(一般家庭の貯金や預金にあたります)

意見書

第1回定例会では1件の意見書が提出され原案どおり可決しました。意見書の要旨は次のとおりです。

【要旨掲載】

地域医療存続のための医師確保に関する意見書

医師不足の解消や地域ごと・診療科ごとの医師偏在の是正を図るために、医師臨床研修において、医師の技術修得はもとより「医は仁術」という医療の基本を習得することを期し、医療不足地域での数年間の勤務義務など医師派遣体制の構築を求めます。

提出者 高橋利勝



ユーピーふれい



充分な議論で
議会としてのチェックを



錦町 千葉健一さん

ナイター議会の傍聴は初めてですがナイター議会が行われていない頃に、2、3回傍聴に来たことがあるとおっしゃる錦町にお住まいの千葉健一さんに、議会に対しての感想を聞かせていただきました。

「昔は傍聴される方が少なかったように思いますが、ナイター議会に大勢の方が来ていたので少し驚きました」

傍聴してみても、一般質問は通告しているのに、議員の質問には問題はないと思います。が町長の答弁は少し長く感じました。

議員の活動は議会、委員会に出席して、議会としてのチェック、委員会等での充分な議論を高めていただければと思います。

本別の将来として、本別には日本一の豆、イモ、砂糖、牛乳、小麦があります。これを活かす方法として、今度できる農産物加工施設で特産品開発をしていただけるものご期待しています。

「また、春に卒業する高校生の雇用場がなく本別に残れない、本別に残れる方策を考えるべきですね」

また、議員もこれ以上減らしたらだめだと語っていました。

千葉さんは、北海道糖業で長く勤められ定年退職後、足寄町の民間の病院に勤められていました。が、昨年退職されました。今は奥さんと二人の生活をされ、ご本人は趣味の家庭菜園を楽しんでいます。

議会日誌

〔 1 月 〕

- 7日 議会広報特別委員会
- 14日 議会広報特別委員会
- 20日 議会運営委員会
- 議会広報特別委員会
- 25日 第1回臨時会、議員協議会
- 27日 総務常任委員会、産業厚生常任委員会



〔 2 月 〕

- 1/28日～5日 ほんべつ雪あかりナイト協力
- 8日 議会運営委員会
- 10日 議員協議会
- 15日 町民懇談会（本別町体育館・勇足地区公民館）
- 16日 町民懇談会（本別町健康管理センター・仙美里地区公民館）
- 17日 町民懇談会（美里別地区公民館・本別町ふれあい交流館）
- 25日 議会運営委員会、十勝町村議会議長会定例会（帯広市）
- 28日 第1回一部事務組合議会定例会（帯広市）



〔 3 月 〕

- 1日 第1回定例会開会、議員協議会
- 4日 議会運営委員会
- 8日 本会議（一般質問）
ナイター議会
- 9日 本会議（予算説明）
総務常任委員会、産業厚生常任委員会
- 11日 各会計予算審査特別委員会
- 14日 各会計予算審査特別委員会、議会運営委員会
- 15日 各会計予算審査特別委員会
- 16日 本会議（議案審議）、議員協議会
議会広報特別委員会
- 25日 議会運営委員会
池北三町行政事務組合議会定例会（足寄町）
- 30日 議会広報特別委員会



次の定例会は

**6月7日から
予定しています**

私たちの住むまちの議会です
どなたも自由に傍聴できます
あなたも傍聴してみませんか



資源を大切に——
ほんべつ議会だよりは、道産間伐材を使用しています。